



“植物のチカラ”

中期経営計画

2021～2024年度

Value Up+

株主通信

第150期 中間報告書

2021.4.1 ▶▶▶ 2021.9.30

日清オイリオグループ株式会社

証券コード：2602





中期経営計画 「Value Up +」の目標達成に 向けて邁進します。

代表取締役社長

久野 貴久

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに第150期上半期(2021年4月1日～2021年9月30日)における事業の取り組み成果をご報告するとともに、今後の展開についてご説明いたします。

● 会社を取り巻く環境

当上半期の日本経済は新型コロナウイルスのワクチン接種が進む一方で、感染対策措置の継続により個人消費が低迷、外食・宿泊・娯楽等の業態においても厳しい状況が続きました。

世界経済については中国や欧米で先行して正常化が進んでいるものの、変異株による感染拡大などを背景に回復に時間を要しています。

当社グループにおいても、行動変容による需要の変化や消費活動の制約等により、国内外の事業活動が大きな影響を受けています。

そして、コスト面では主要原料相場の歴史的な高値圏での推移に加え、世界経済の回復基調に伴うエネルギー需要の急増による資源価格の高騰により、厳しい経営環境が続いています。

● 当上半期の連結業績

このような環境下、当社グループの中期経営計画「Value Up +」

(2021～2024)の初年度となる当上半期の連結業績は、売上高1,953億29百万円(前年同期比20.9%増)、営業利益62億84百万円(同20.1%減)、経常利益71億71百万円(同9.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益52億98百万円(同4.9%減)となりました。

セグメント別では*、油脂事業が原料価格の高騰を背景とした販売価格の改定等により、売上高が前年同期を上回りました。一方、営業利益については価格改定に注力したものの原料価格高騰分を吸収できず、前年同期を下回りました。

加工食品・素材事業は、チョコレート製品の販売による増益、調味料やMCT(中鎖脂肪酸)関連商品の販売伸長等により、売上高が前年同期並み、営業利益は前年同期を上回りました。

ファインケミカル事業は、中国や欧米を中心とした海外での化粧品原料の販売が回復したこと等により、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

※当期より報告セグメントの事業区分を「油脂事業」、「加工食品・素材事業」、「ファインケミカル事業」に変更しています。

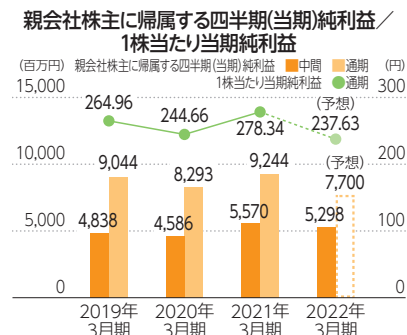
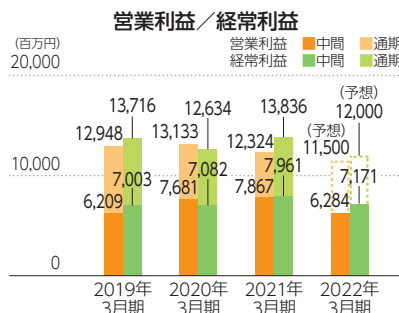
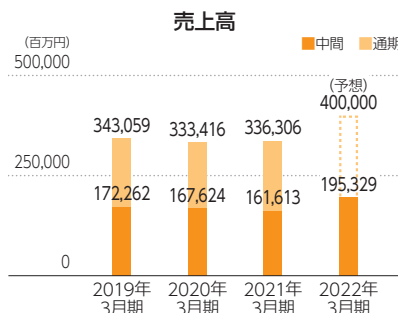
● 当期の連結業績予想

穀物価格の歴史的な高騰等により原材料価格が大幅に上昇する中、コストに見合った適正な販売価格の形成に取り組んでいます。これを受け当期の売上高が当初の業績予想を上回ることが見込まれたため、連結業績予想を売上高4,000億円、営業利益115億円、経常利益120億円、親会社株主に帰属する当期純利益77億円に8月6日に変更しています。

尚、会社を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続くものと想定されます。今後の動向を慎重に見極め、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに開示いたします。

厳しい環境下ではありますが、社員一丸となって計画初年度の取り組みに邁進いたします。

■ 連結財務ハイライト



○本報告書中に記載の金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

※2022年3月期より新たな収益認識基準を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更しています。

● 中期経営計画「Value Up +」の目標達成に向けて

当社グループでは将来にわたって持続的に成長し、持続可能な社会の実現に貢献するための「目指すべき姿」と「戦略の指針」を示す「日清オイリオグループビジョン2030」を策定するとともに、その実現に向けた2021～2024年度までの4か年の中期経営計画として「Value Up +」をスタートさせました。

「Value Up +」では、「ビジョン2030」で掲げた目指す姿や基本方針である“もっとお客さまの近くへ”を実現するために前中期経営計画で大切にしてきた「Marketing」「Technology」「Globalization」をさらに深化させていくことが重要と考えました。この3つをさらに深化させることで、価値を生み出す仕掛けを作り、強みである油脂を究め、そしてビジネス領域の拡大を実現していきます。

Marketing(マーケティング)

「Value Up +」では、流通の皆様との関係を大切にしながら、その先にいる生活者の皆様へ力点をシフトしていきます。そのことが強みである流通の皆様との関係をさらに強化することにつながると考えています。

例えば、機能性素材では、MCTの栄養研究などで得た科学的な根拠をもとに、生活者の皆様に必要とされるストーリーを描き、プロモーションを通じて新たな市場を創造する、そして食用油では、新たなおいしさを楽しんでいただくための「味付けオイル」という新カテゴリーの創出などを、パートナーである食品加工メーカーや流通の皆様とともに進めていきます。これまで以上に生活者視点で進めることで、お届けする商品・サービスに新たな付加価値をプラスし、パートナー企業と新たな事業領域の開拓を図ります。

Technology(テクノロジー)

「Marketing」で捉えた環境変化や機会を商品・サービスの形に具現化していくのが「Technology」です。まず「ビジョン2030」で中

核に定めた油脂領域での研究・開発により、健康やおいしさの面で価値向上を目指します。また、油脂に関する技術力や原料のサステナビリティをグローバルトップレベルに深化させることを目指します。

Globalization(グローバル化)

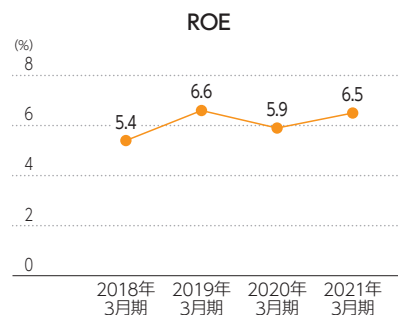
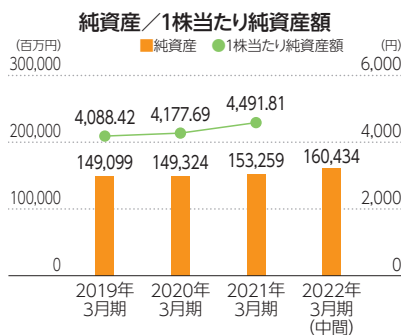
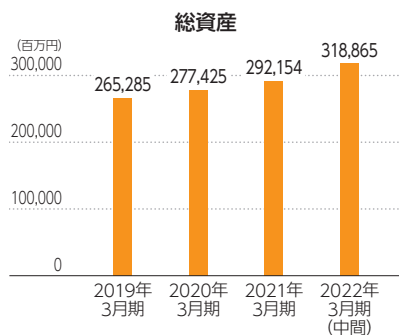
新たなビジネス領域獲得や拡大戦略を実現する「Globalization」については、中核である油脂を強みにグローバルトップの油脂ソリューション企業へ飛躍するため、ターゲットエリアを東南アジア・中国、欧州、北米に設定、注力領域をフードサービス分野、チョコレート・製菓・製パン分野、化粧品分野、健康・栄養機能分野と決めました。グローバルな成長への道筋をつけるためには事業基盤とサプライチェーンの確立が重要であり、まずは、前中期経営計画で投資を進めてきた海外拠点の安定稼働とさらなる拡大戦略を実現する生産能力の増強、サステナブルな原料の追求を進めます。そして、ユーザーサポート機能の体制・拠点を整えて存在感を高めるとともに、事業強化を目的とした提携やM&Aを進め、シナジー効果を獲得していきます。

● 株主の皆様へ

当社では利益成長の成果を株主の皆様適切に還元することを目的に、中期経営計画「Value Up +」において4年間累計の総還元性向50%を目指すとともに安定的な配当を行う方針としています。この方針に基づき、当期の配当については期初の予定どおり、中間配当を1株当たり45円とさせていただきます。期末配当については1株当たり45円、年間では1株当たり90円を予定しています。

そして、グループ初となる「日清オイリオグループ統合報告書2021」の公開などを通じて、皆様との対話をさらに深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





油脂事業



売上高 1,600億22百万円
[前年同期比25.6%増加 ↑]

営業利益 50億96百万円
[前年同期比31.0%減少 ↓]

売上高構成比
81.9%

主要製品

- ホームユース(食用油) ● 業務用食用油 ● 加工用油脂
- 油粕 ● パーム加工品 ● チョコレート用油脂
- マーガリン ● ショートニング

■ 油脂事業は売上高が増加、営業利益は減少

【原料の調達環境】 主要原料の大豆、菜種の調達価格が大幅に上昇

- ・大豆相場は、中国の旺盛な買付等による米国産の需給逼迫とバイオ燃料需要の増加期待、米国の高温乾燥による減産懸念等から高値圏で推移。その後、米国の生産量見通しが改善し値を下げましたが、前年同期比では大幅な高値。
- ・菜種相場は、欧州産菜種減産の影響による世界需給の引き締まりやバイオ燃料需要の増加期待等から5月に史上最高値を更新、6月下旬にカナダ西部を襲った熱波によるカナダ産菜種の大幅な減産見通しなどもあり大幅な高値圏で推移。

【ミールの販売】 大豆、菜種ミールは売上高が増加

- ・大豆、菜種ミールともに搾油量の回復により販売数量が増加。
- ・価格面では、中国国内のASF(アフリカ豚熱)の沈静化に伴う強い飼料需要、大豆やコーンの世界需給逼迫などにより大豆ミールの販売単価が上昇。菜種ミールも、競合する飼料原料が供給余力を欠き配合率が堅調に推移したこと等により販売価格が上昇。

【油脂の販売】 売上高が増加、営業利益は減少

<業務用> 「ニーズ協働発掘型」営業を展開し、長持ち機能を付加した「機能フライ油」等の「付加価値型商品群」の提案を通じた新規顧客開拓に努めるとともに、コロナ禍で大きく減少した需要の一部持ち直しや、原料価格高騰の中、販売価格の改定に取り組んだことにより売上高が増加。

<加工用> コストに見合った適正価格での販売により売上高が増加。

<ホームユース> 販売価格改定に取り組むとともに、付加価値品の継続的な市場育成、拡販を進め、特にごま油、サブリ的オイルが伸長しましたが、内食需要増加を背景に販売が大幅に伸長した前年同期との比較では売上高が減少。

【加工油脂の販売】 売上高が増加、営業利益は減少

<海外加工油脂> コロナ禍の影響が続いているものの、マレーシアのISF社※1において販売が堅調に推移。また、パーム油相場の高騰を受けた販売価格の上昇により売上高が増加。利益面ではパーム油取引の時価評価の影響等により営業利益が増加。

<国内加工油脂> コストに見合った適正価格形成への取り組みおよび販売数量の回復により売上高が増加。利益面では原料価格高騰の影響が大きく営業利益は減少。





加工食品・素材事業



売上高 **257億39百万円**
[前年同期比0.1%増加 ↑]

営業利益 **6億30百万円**
[前年同期比26.6%増加 ↑]

主要製品

- チョコレート関連製品
- ホームユース(ドレッシング)
- ウェルネス食品(MCT高エネルギー食品、高齢者・介護食品)
- MCT
- レシチン
- トコフェロール
- 食品大豆
- 大豆たん白
- 豆腐類

売上高構成比
13.2%

■ 加工食品・素材事業は売上高が前年同期並み、営業利益が増加

【チョコレート】土産物を中心とした菓子需要の低迷が続く中、拡販に努め、大東力カオ(株)におけるチョコレート製品の販売数量は前年同期並みを維持。シンガポールのT&C社^{*2}は日本向けの販売が減少、インドネシアのPT社^{*3}は新規取引の開始により販売数量が増加。

【調味料】主力商品「日清ドレッシンググアイエット」などに加え、「日清アマニ油ドレッシング」や「日清えごま油ドレッシング」の拡販等により販売が増加。

【機能素材・食品】MCT(中鎖脂肪酸)関連商品の販売が増加。

【大豆素材・食品】新商品発売や醸造用ミールの適正価格での販売に努めました。



※2 T.&C. Manufacturing Co., Pte.Ltd. ※3 PT.Indoagri Daitocacao

ポイント

ファインケミカル事業



売上高 **82億65百万円**
[前年同期比15.9%増加 ↑]

営業利益 **7億87百万円**
[前年同期比80.5%増加 ↑]

主要製品

- 化粧品・トイレタリー原料
- 化学品
- 植物性工業油
- 洗剤
- 殺菌洗浄剤
- 界面活性剤

売上高構成比
4.2%

■ ファインケミカル事業は売上高、営業利益が増加

【ファインケミカル】中国、欧米での化粧品原料の需要回復や、クレンジングおよびスキンケア用途での需要獲得により海外向け販売が伸長。

【環境・衛生】アルコール製剤が堅調に推移した一方で、利益率の高い製品の販売が減少。

これらの他にその他事業の売上高構成比が0.7%あります。

文中で記載した各指標(相場、販売数量、売上高、営業利益等)の増減は、特別な補足のない限り、前年同期との比較です。

「ビジョン2030」の実現に向けて

「日清オイリオグループビジョン2030」では、“植物のチカラ®”と“油脂をさらに究めた強み”で、“生きるエネルギー”をすべての人にお届けする企業グループになることを掲げています。

ここではその実現に向けて設定した6つの重点領域でのトピックスをご紹介します。

2030年に目指す姿

私たちは、“植物のチカラ®”と“油脂をさらに究めた強み”で、食の新たな機能を生み出すプラットフォームの役割を担います。そして多様な価値を創造し、“生きるエネルギー”をすべての人にお届けする企業グループになります。

ビジョン基本方針

これまでより「**もっとお客さまの近く**」でビジネスを展開する

重点領域

すべての人の
健康

おいしさ、
美のある
豊かな生活

地球環境

食の
バリューチェーン
への貢献

信頼で
つながる
サプライチェーン

人材
マネジメント

2030年度に目指す事業規模

売上高 **5,000**億円

営業利益 **300**億円

ROE **8%**以上

「日清オイリオグループビジョン2030」の詳細はホームページで掲載しています。

日清オイリオ ビジョン2030

検索



“植物のチカラ®”と“油脂をさらに究めた強み”で、“生きるエネルギー”を
すべての人にお届けしていきます。

「日清MCTオイル」を機能性表示食品にリニューアル

今秋、健康維持に役立つことが期待される「日清MCTオイル_{HC}」シリーズ*1を「体脂肪やウエストサイズ」に関わる機能性表示食品としてリニューアルいたしました。

当社グループは「ビジョン2030」で“植物のチカラ®”と“油脂をさらに究めた強み”で、食の新たな機能を生み出すプラットフォームの役割を担い、多様な価値を創造することで、“生きるエネルギー”をすべての人にお届けする企業グループ」の実現を掲げています。

今後、MCTオイルをはじめ、当社が強みをもつ素材を食用油や加工食品に広く展開することで、その実現を推進してまいります。

- **パッケージ表示**：体脂肪やウエストサイズ*2を減らす*3
- **届出番号**：G 144
- **届出表示**：本品には中鎖脂肪酸(オクタン酸、デカン酸)が含まれます。中鎖脂肪酸(オクタン酸、デカン酸)はBMIが高めの方のウエスト周囲径の減少、体脂肪や内臓脂肪を減らすことが報告されています。
BMIが高めでおなかの脂肪が気になる方に適した食品です。
- **摂取の方法**：1日2gを目安に食べ物や飲み物に加えてお召し上がりください。



*1：主に量販店様の食用油売場で展開しているラインアップです。 *2：ウエスト周囲径 *3：BMIが高めの方

商品情報の詳細はホームページで掲載しています。

日清オイリオ 家庭用商品情報

検索



「もっとお客さまの近くで、多様な価値を創造し続ける企業グループ」へ 「味つけオイル」という新カテゴリーを創出

当社グループは、「ビジョン2030」の実現に向けた最初の4年間の中期経営計画「Value Up +」で、「もっとお客さまの近くで、多様な価値を創造し続ける企業グループ」への変革を掲げています。

基幹事業に位置づけている油脂事業では食用油の栄養機能や新しいおいしさ・使い方を訴求することで、家庭用食用油市場のさらなる拡大を目指しています。

新発売

食用油の新たなおいしさを楽しんでいただくために

料理の味つけに使う「味つけオイル」という新たなカテゴリーを創出するとともに、その品揃えを拡充することで、お客様に食用油の新たなおいしさ、使い方を提案していきます。液ダレしにくい卓上使いに適した容器、使い方がイメージできる複数の料理画像を配したパッケージで展開いたします。

BOSCO シーズニング オイル

- BOSCOエキストラバージンオリーブオイルとオイルに溶け込む素材の香りが織りなす風味が特長の3種のシーズニングオイルを新発売*。
- 料理の味つけに使えば、お店のようなおいしさを楽しめます。手作り調理の機会が多く、料理への関心が高いお客様におすすめです。



「香ばしローストガーリック」



「爽やかなレモンジンジャー」



「華やかなハーブミックス」



*いずれもBOSCOエキストラバージンオリーブオイル約30%配合

内容量・容器／90gPET オープン価格

日清やみつきオイル アジアンパクチー

「日清やみつきオイル」に 「アジアンパクチー」が新登場

- パクチーと魚醤（ぎょしょう）のフセになる風味と、柑橘のすっきりとした香り、青とうがらしの爽やかな辛み。開発者のこだわりのブレンドで、特に女性から人気の、あのやみつきアジアンテイストを再現しました。
- いつもの料理にお使いいただくだけ。これ一本で簡単に、ご家庭でエスニック風料理が楽しめます。



内容量・容器／100gポリ
オープン価格

「日清やみつきオイル」シリーズ ラインアップ

- みんなが大好き、思わず「やみつく風味」が楽しめる「日清やみつきオイル」。
- 料理の味つけや、調理中の仕上げにかけて、いつもの料理に調味料感覚でお使いいただけます。
- 食べている途中での料理の味変にもおすすめです。炒めものや焼きものにもお使いいただけます。

左から、「ごま油にんにく」、「ガーリックバター風味」、「アジアンパクチー」



NEW

商品情報の詳細はホームページで掲載しています。

日清オイリオ 家庭用商品情報

検索



日清オイリオグループのサステナビリティ活動

地球温暖化防止

..... これまでの取り組み

■ 当社のCO₂排出量

2020年度 20.9%削減
(1990年度比)

ポイントは外部との共創

JFEエンジニアリング社と連携し、全国生産拠点のエネルギー調達から供給までを最適化することなどにより達成。

エネルギーネットワーク



..... 2030年度目標は温室効果ガスの削減

■ 当社グループのCO₂排出量

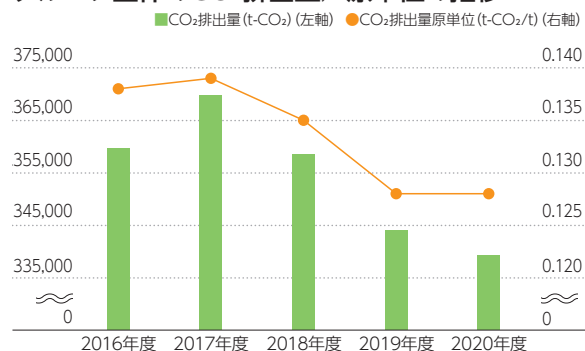
2030年度 31% 削減 (2016年度比)

当社グループのScope 1、2排出量 (生産活動および購入エネルギーに伴う排出量) として。

2024年度目標 8% 削減 (2016年度比)

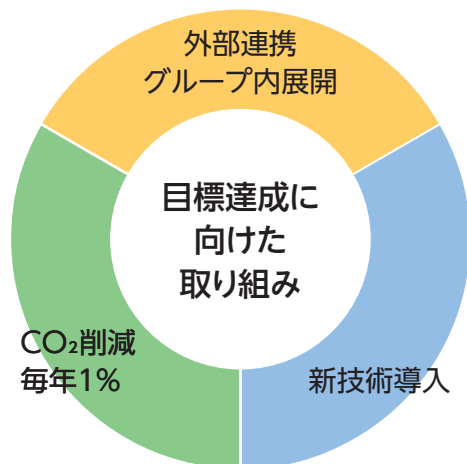
2020年度進捗 5.5% 削減

当社単体では16%削減 (2016年度比)

グループ全体のCO₂排出量／原単位の推移

2030年度の目標達成に向けて

2030年度に「CO₂排出量31%削減（2016年度比）」という大きな目標に向けて、気候変動の影響を考慮した新たな手法により目標達成を推進します。



CO₂削減毎年1%

従来行ってきた、毎年1%以上のCO₂削減の継続

- 効率的な機器の導入
- 現場力の活用
- 運転管理の高度化 等

外部連携 グループ内展開

CO₂削減の対象領域拡大や外部との共創

- 新たな着想
- 他社の調達力の取り入れ 等

新技術導入

ICP^{※1}活用などによる新技術の導入

- TCFD^{※2}への賛同、そこでの取り組みを通じて見出した、CO₂削減の効果的な機会について、グループ全体の最適化を考慮のうえ、ICPを活用した新技術導入などにより推進 等

今後の重点取り組み

再生可能エネルギー利用推進とグループへの展開

推進体制の核は堺工場サステナビリティセンター構想プロジェクト

2021年1月に立ち上げたこのプロジェクトでは、将来を見据えたCO₂削減策について、環境関連技術情報の収集やその検証を行っています。

国内外のグループ会社に展開

例えば、電力会社と連携し、自社敷地内に太陽光パネルを設置するなど、外部企業との積極的な交流により新たな知見の獲得を図ります。得られたノウハウは国内外のグループ会社と共有するなどして、再生可能エネルギーの利用を拡大します。



マレーシアISF社の太陽光パネル

※1 ICP：企業内で独自に炭素排出量の価格を設定すること。炭素排出量を費用として定量的に把握することで、その削減に向けた投資判断を正しく行えるなどのメリットがあります。

※2 TCFD：2015年12月、金融安定理事会により設立された国際的な検討チームです。気候変動に係わる情報開示および金融機関の対応を検討するために設立されました。2017年6月には、企業に対して適切な投資判断に必要な情報開示の手法を提言しています。

サステナビリティ活動の詳細はホームページで掲載しています。

日清オイリオ サステナビリティ 検索

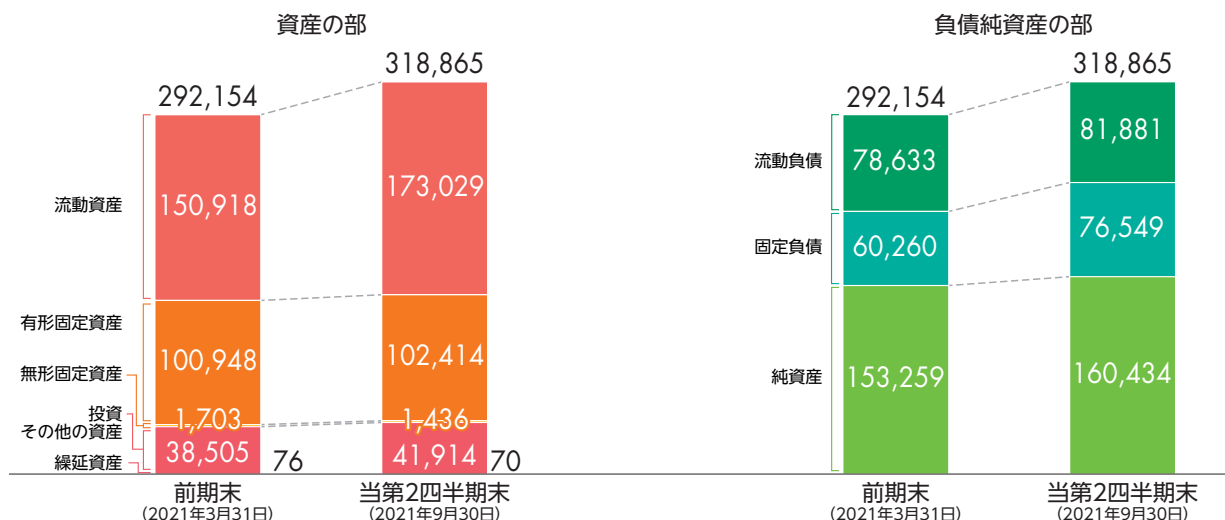




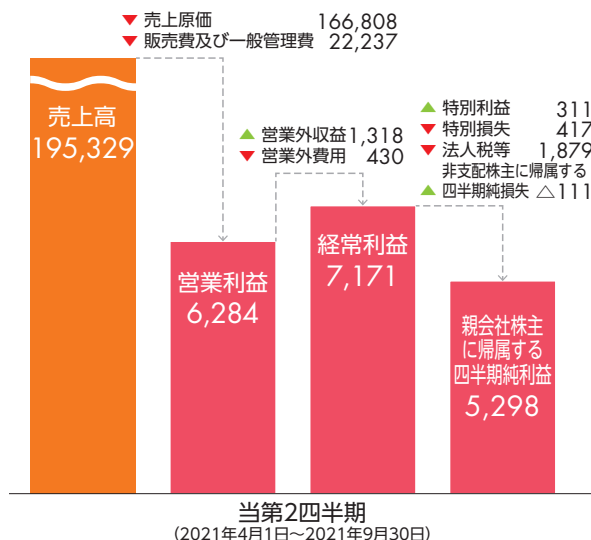
連結財務諸表



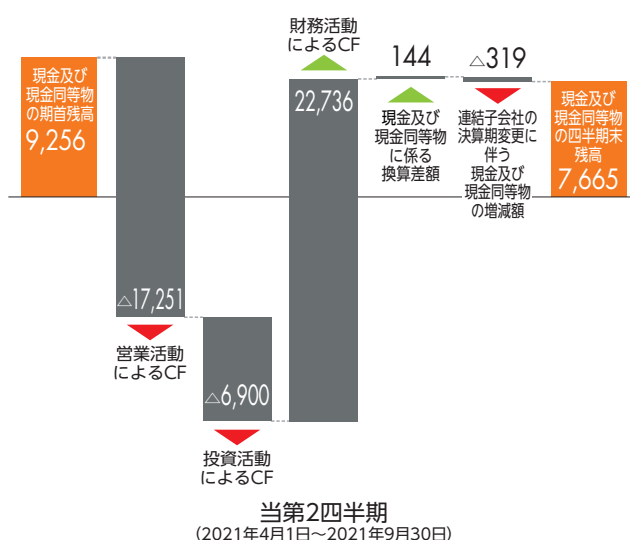
● 四半期連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



● 四半期連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)





● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 2021年3月31日	当第2四半期末 2021年9月30日
資産の部		
流動資産	150,918	173,029
固定資産	141,158	145,765
有形固定資産	100,948	102,414
無形固定資産	1,703	1,436
投資その他の資産	38,505	41,914
繰延資産	76	70
資産合計	292,154	318,865
負債の部		
流動負債	78,633	81,881
固定負債	60,260	76,549
負債合計	138,894	158,430
純資産の部		
株主資本	138,418	142,465
資本金	16,332	16,332
資本剰余金	22,849	21,660
利益剰余金	106,318	108,545
自己株式	△7,081	△4,072
その他の包括利益累計額	7,133	10,303
その他有価証券評価差額金	8,670	10,230
繰延ヘッジ損益	662	457
為替換算調整勘定	△1,555	138
退職給付に係る調整累計額	△643	△522
非支配株主持分	7,707	7,665
純資産合計	153,259	160,434
負債純資産合計	292,154	318,865

● 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当第2四半期 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
売上高	161,613	195,329
売上原価	130,241	166,808
売上総利益	31,371	28,521
販売費及び一般管理費	23,503	22,237
営業利益	7,867	6,284
営業外収益	513	1,318
営業外費用	419	430
経常利益	7,961	7,171
特別利益	79	311
特別損失	291	417
税金等調整前四半期純利益	7,749	7,066
法人税等	2,315	1,879
四半期純利益	5,434	5,186
非支配株主に帰属する四半期純損失	△136	△111
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,570	5,298

ワンポイント説明

四半期連結貸借対照表

- 資産の部：売上債権、棚卸資産、有形固定資産、投資有価証券の増加、現金及び預金の減少などにより、資産合計は267億11百万円増加。
- 負債の部：短期借入金、長期借入金の増加、流動負債その他の減少などにより、負債合計は195億36百万円増加。

四半期連結損益計算書

- 前年同期に比べ、売上高は20.9%増加、営業利益は20.1%減少、経常利益は9.9%減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は4.9%減少。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加によるキャッシュの増加および売上債権の増加、棚卸資産の増加、法人税等の支払によるキャッシュの減少などにより、172億51百万円の支出。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得によるキャッシュの減少などにより、69億円の支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増、長期借入による収入でのキャッシュの増加および長期借入金の返済による支出、配当金の支払によるキャッシュの減少などにより、227億36百万円の収入。

● 会社概要

(2021年9月30日現在)

商 号 日清オイリオグループ株式会社

本社所在地 東京都中央区新川一丁目23番1号
TEL(03)3206-5005(代表)

設 立 明治40年(1907年)3月7日

資 本 金 16,332百万円

従 業 員 数 1,272名

おもな事業所 北海道支店、東北支店、関東信越支店、東京支店、
中部支店、大阪支店、中国支店、九州支店、
中央研究所、横浜磯子事業場、名古屋工場、
堺工場、水島工場

● 連結子会社一覧

(2021年9月30日現在)

国内(11社)

セッツ株式会社	株式会社マーケティングフォースジャパン
日清商事株式会社	日清ファイナンス株式会社
日清物流株式会社	株式会社ゴルフジョイ
株式会社NSP	もぎ豆腐店株式会社
大東カカオ株式会社	ヤマキウ運輸株式会社
株式会社日清商会	

海外(9社)

上海日清油脂有限公司

日清奧利友(中国)投資有限公司

日清奧利友(上海)國際貿易有限公司

Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd.

Industrial Química Lasem, S.A.U.

T.&C. Manufacturing Co., Pte. Ltd.

PT Indoagri Daitocacao

Intercontinental Specialty Fats (Shanghai) Co.,Ltd.

Intercontinental Specialty Fats (Italy) S.r.l.

● 役員一覧

(2021年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	久野 貴久	常務執行役員	岡 雅彦
代 表 取 締 役 専務執行役員	尾上 秀俊	常務執行役員	梨木 宏
取 締 役 専務執行役員	河原崎 靖	執 行 役 員	山内 勝昭
取 締 役 常務執行役員	小林 新	執 行 役 員	斉藤 孝博
取 締 役 常務執行役員	岡野 良治	執 行 役 員	寺口 太二
取 締 役 常務執行役員	三枝 理人	執 行 役 員	渡辺 信行
社 外 取 締 役	白井さゆり	執 行 役 員	小池 賢二
社 外 取 締 役	山本 功	執 行 役 員	佐藤 将祐
社 外 取 締 役	町田 恵美	執 行 役 員	長岡 宏
常 勤 監 査 役	藤井 隆	執 行 役 員	瀬川 高志
常 勤 監 査 役	大場 克仁	執 行 役 員	久馬 仁
社 外 監 査 役	草道 倫武	執 行 役 員	野中 公陽
社 外 監 査 役	住田 清芽		

● 株式の状況

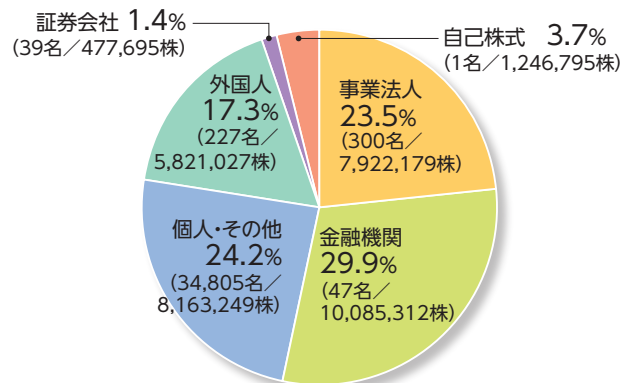
(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 77,670,000株
発行済株式の総数 32,469,462株(自己株式を除く)
株 主 数 35,419名

● 株式分布状況

(2021年9月30日現在)

所有者別状況



円グラフは株式数比率

● 大株主の状況

(2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
丸紅株式会社	5,200	16.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,969	12.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,713	5.28
損害保険ジャパン株式会社	703	2.17
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	669	2.06

(注) 1. 当社は、自己株式1,246,795株を保有しておりますが、上記の株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
期末配当金支払株主確定日 3月31日
中間配当金支払株主確定日 9月30日
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

お知らせ

住所変更、単元未満株式の 買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設
されました株主様は、特別口座の口座管理機関である
三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお受取りについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会
社にお申出ください。

配当金計算書の送付について

配当金のお支払いの際に送付しております「配当金
計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通
知書」を兼ねております。確定申告をされる際は、その
添付資料としてご使用いただくことができます。ただ
し、株式数比例配分方式をご選択いただいている株
主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社
にて行われますので、確定申告をされる際は、お取引
の証券会社にご確認ください。



鮭の豆乳入り粕汁

寒い日にホッと温まる、酒粕の濃厚な甘みと鮭や野菜の旨みがマッチした粕汁。豆乳、発酵食品の酒粕、オメガ3が手軽に摂れる日清有機えごま油の組み合わせは、ヘルシーで嬉しい。

作り方

- 1 鮭は4〜6等分する。酒粕はだし汁100mlに浸し、ほぐす。
- 2 大根とにんじんは7mm幅のいちょう切りにする。ごぼうは斜めに7mm幅に切り、水にさらし水気をきる。しめじは小房に分ける。
- 3 だし汁(400ml)を沸かし、②を入れて野菜が柔らかくなるまで中火で煮る。鮭を加えて4〜5分煮てみそと①の酒粕を溶いただし汁、豆乳を加えて温まったら器に盛り、しょうが、青ねぎを散らす。食卓で日清有機えごま油をかけていただく。

調理に使う商品

日清有機
えごま油

フレッシュ
キープ
ボトル



- 調理時間：20分
- エネルギー(1人分)：278kcal
- 食塩相当量(1人分)：2.9g

材料(2人分)

鮭(甘塩)……………1枚
酒粕(ペースト状)…50g
大根……………100g
にんじん……………50g

ごぼう……………30g
しめじ……………1/2パック
だし汁……………500ml
みそ……………大さじ2
豆乳……………200ml
しょうが(すりおろし)……………小さじ1
青ねぎ(小口切り) 大さじ3
日清有機えごま油……………お好みの量

ひとこと
コメント

酒粕はペースト状になったものを使用すると扱いやすいです。みそは色が薄めのものがおすすめ。野菜を煮ているときに煮詰まるようなら、だし汁を少量足します。

株主通信(第150期中間報告書)についてのアンケートのお願い

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の株主通信の参考とさせていただくため、Webアンケートを実施いたします。是非ご協力いただきますようお願いいたします。右記URLにアクセスいただき、アクセスナンバー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

アンケートの実施期間：2022年1月31日(月)まで

ご回答いただいた方の中から抽選で30名様に日清オイリオ商品を進呈いたします。当選発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。(2月下旬発送予定)

早摘みグリーンオリーブが
贅沢なボスコギフトを進呈

BOSCOエキストラバージン
オリーブオイル140g瓶
BOSCOオリーブオイル140g瓶 各1本



アクセス方法

- パソコンから 下記のURLからアクセスいただけます。
<https://q.srdb.jp/enq@q.srdb.jp> へ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。
- スマートフォン・携帯電話から



QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、左のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。